

大谷學會彙報

□十月八日(火)午後三時より講堂に於て、東方佛教後協會と共同主催にて左の諸演會を開く。

印度の宗教生活 ドクター カズン氏

司會山邊委員、通譯鈴木貞太郎教授。アダムス・ベック夫人等多數來會。

□十月廿七日(日)午後一時半より講堂にて、秋期公開講演會を開催す。講師及び演題左の如し。

一、偶然性 京大講師 九鬼 周造氏

一、淨土莊嚴の原理

本學教授 曾我 量深氏

研究室彙報

佛教學研究室

眞宗學會

□十一月五日(火)午後三時より第十六教室に於

大谷學會彙報 研究室彙報

て例會を開く。

宗祖の入信に就て

安井廣度教授

□十一月二十日(水)午後三時より第十六教室に例會開催、講師及び講題左の如し。

西、鎮、今、三家の三願觀

河野 教授

佛教學會

□十月二十三日(水)午後三時より圖書館樓上に於て例會を催す。尙終つて山口益教授の歡迎茶話會を應接室にて開く。當日の講師並に演題は次の如し。

古代印度に於ける唯物的懷疑思想

龍山 章眞君

□十一月八日(金)午後三時より長井眞琴博士の來校を機として左の講義を聴く。

我國に於ける巴利佛典の研究

長井 博士

哲學研究室

哲學會

二三五

八五五

□十月三日(木)午後三時より圖書館樓上に於いて例會を開く。

講師——安富成中教授

演題——女性論

社會學會

□九月廿八日(土)午後三時より應接室に於いて第二回例會を開く。

講師——天津一彥氏

演題——人口の都市集中について

□十一月二日(土)安富、若栗兩教授引率の下に學生三十餘名大津膳所刑務所を見學す。得るところ少くなし。それより三井寺、石山寺各自思ひ／＼に附近の秋色を探索る。

哲學の會

□九月二十八日(土)午後七時より應接室において茶話會を開く。レコード演奏、シューバート曲絃樂五重奏「鱒」を。

□十一月二日(土)午後一時より黃檗・宇治に散策。臨濟の古寺を訪ひ、關秋の田園にリードを吟み、紅葉の宇治に逍遙をこゝろむ。

□十月七日(土)午後六時より應接室において讀書會を開く。岩城君の「ラスクの『ヘーゲルと啓蒙期の世界觀』について」を主題として。

國史研究會

□八月十六日より二十三日迄山陰方面研究旅行參加人橋川教授、藤島研究員、學生十名、見學箇所。

出雲大社。鰐淵寺(松江)。小泉八雲舊居。千鳥城。天倫寺。(美保關)佛谷寺。(出雲)清水寺。雲樹寺。(隱岐)隱岐島廳。飯山古墳。國分寺。玉若神社

□十月二十日午後二時より本館玄關前に於て橋川教授渡歐送別記念撮影をなす、次いで圖書館樓上に於て大會を開く。講師及演題左の如し。

一、法隆寺建築より見たる太子の思想

土山 文夫氏

一、島津庄

徳重 教授

一、上宮御製疏御引用の百行章

橋川 教授

終つて矢尾政樓上に於て橋川教授御渡歐送別晩

餐會を開く。

國文學會

◎九月十九日 阪倉顧問嚴父本葬に就き本會代表參列す。

◎九月廿日 大谷大學國文學會々報第一號發行

◎十月三日(木)、第十二教室、例會。

實物集に就て 橘 純考君

守部の音義説及び語學者との關係

武本 宣正君

狂言の文學的考察 藤原 昭信君

◎十月廿四日(木)、圖會館樓上、例會。

太平記の研究 中堂 達君

子規の研究 陶山 秀雄君

選集抄に就て 近藤 祐真君

◎十一月七日(木)、例會。

十訓抄説話の研究 回陽 博遺君

淺井了意の一、二の考察 北條 秀雄君

◎十一月十七(日)、國文學會第貳回公開大講演會。午後一時より下總會館にて。

情調の技巧的構成 能勢 教授

英佛人創刊の日本文典について

龜田 教授

◎十二月五日(木)午後三時、圖書館樓上、例會。

神を祭る者の文學に就ての

一、二の考察 夏目 隆文君

山東京傳の洒落本に對する

文學的考察 月見 崇君